

総合計画審議会（11月24日（木））の意見と対応

（総合計画審議会委員からの素案(案)への意見）

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応方向
1	八木委員	基本構想	神奈川の将来像	9	基本目標の記述について、これだけでは分かりにくいので、もう少し踏み込んで、分かりやすく書いた方がよいのではないかと。 例えば、県民総力戦で創る神奈川のなかに「神奈川モデル」とあるが、神奈川モデルがどのようなものなのかが分かりにくい。	神奈川の将来像については、県民にメッセージとして伝えるため、分かりやすいシンプルな言葉で記述することとしています。 なお、ご意見を踏まえ、神奈川の将来像の「3 県民総力戦で創る神奈川」については、県民総力戦や「神奈川モデル」の意味がわかるよう記述を補足しました。
2	笹生委員	基本構想	神奈川の将来像	9	「県民総力戦」という言葉は県民の立場から言っても違和感があり、「戦」という字はアグレッシブで表現を検討した方がよいのではないかと。	
3	川名委員	基本構想	神奈川の将来像	9	「県民総力戦で創る神奈川」について、「戦う」という言葉は違和感があるため、検討した方がよいのではないかと。	
4	藤原副会長	基本構想	政策展開の基本的視点	13	今後の超高齢化社会では、行政が全てを担うということではなく、県民も役割を担い、自分たちの対応力を高めていく必要がある。何でもやると書いてしまうと、依存度が高まってしまふ。知事は「県民総力戦」という言葉にそういう意味を込めたのではないかとと思うが、専門家を増やすだけではなく、すべての県民が力をつけていけるように底上げを図ることが大切ではないかと。	個人やNPO、企業、行政など多様な担い手が協働・連携していくという方向性について、基本構想の「政策展開の基本的視点」の（7）に記述しております。
5	川名委員	基本構想	政策展開の基本的視点	13	大震災以降、自治体間の連携の重要性が認識されたが、神奈川という力のある県が近隣の静岡や山梨などとの連携でどういう役割を果たしていくかということについても記述した方がよいのではないかと。	自治体間の連携については、基本構想の「政策展開の基本的視点」の（8）に記述しております。また、災害時における自治体間の連携に向けた、広域的な支援体制の構築については、実施計画の「大規模災害などに備える災害対応力の強化」のプロジェクトに位置づけております。
6	八木委員	基本構想	政策分野別の基本方向	18	政策の基本方向の産業・労働について、これまでの産業集積を生かすには、企業間の連携やネットワークが重要であるため、そうした視点も加えた方がよいのではないかと。	産学公連携や中小企業と大企業の連携、ネットワークの強化などについては、基本構想の「政策分野別の基本方向」に記述しております。 また、具体的な施策は、実施計画の「競争力の高い産業の創出・育成」のプロジェクトに、産学公の技術連携やネットワークづくりを位置づけております。
7	八木委員	基本構想	政策分野別の基本方向	18	政策の基本方向の産業・労働について、観光の視点でインバウンドの取り組みについても加えた方がよいのではないかと。	外国人観光客の誘客については、「政策分野別の基本方向」の「魅力ある地域資源を生かした産業の振興」に「…国内外から人を引きつけ」の文言を記述しております。 また、具体的な施策は、実施計画の「神奈川を世界にアピールする国際戦略」のプロジェクトに、「外国人観光客の誘客促進」の取り組みを位置づけております。

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応方向
8	八木委員	基本構想	政策分野別の基本方向	19	政策の基本方向の産業労働で、就業支援のところに言葉として高齢者や若年者を加えた方がよいのではないかな。	高齢者や若年者への就業支援については、政策の基本方向の産業・労働に「中高年齢者の再就職」や「若年者などへの就業支援」について記述しております。また、具体的な施策は、実施計画の「産業人材の育成と就業支援の充実」のプロジェクトに、就業支援の充実を位置づけております。
9	川名委員	基本構想	政策分野別の基本方向	24	NPOという言葉が各所に出てくるが、NPO法人という形を取るものだけではなく、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネス、社会的企業といったものを含んだ言葉として使っているように思うので、NPOにくくってしまわない方がよいのではないかな。	「NPO」という表現については、ご意見の通り、ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスなども含めた意味で使用している場合があります。「政策の基本方向」の「県民生活」の「新しい公共を担う多様な担い手への支援」の記述では、「NPOなど」として記述し、また、実施計画の「NPOの自立的活動と協働の推進」のプロジェクトでは、「NPOを中心に企業や大学などの多様な主体」として記述しております。
10	八木(大)委員	基本構想	神奈川をとりまく社会環境	47	国民の4人に1人がかかっている花粉症への対応について、本県から9都県市に働きかけて中心となって取り組んでいるため、何らかの位置づけをすべきではないかな。	ご意見を踏まえ、基本構想の「神奈川をとりまく社会環境」に花粉症への対応として花粉の少ない杉への植え替えなど森林整備について、記述を追加しました。 また、具体的な施策については、実施計画の主要施策「地域の特性を生かした多彩な森林づくり」に位置づけております。
11	広瀬委員	実施計画	柱	8 11	柱のキーワードについて、Iのエネルギー政策の転換の柱と、IIの安全安心の柱は、子どもたちにとっても重要な視点であるため、「育む」というキーワードを加えてもよいのではないかな。	ご意見を踏まえ、IとIIの柱について、「育む」視点を踏まえた記述を追加しました。
12	野村委員	実施計画	柱	8 40	雇用創出という言葉が出てこないが、雇用を拡大する取組みを進めてほしい。	雇用の創出に向けては、中小企業支援や企業誘致など産業振興施策を通じて、県内産業を活性化することが雇用創出につながるものと考えております。 なお、柱のページのキーワードとして「雇用を生む」「技術や雇用を創る」といったキーワードを掲げております。
13	広瀬委員	実施計画	PJ2	10	プロジェクト名がエネルギー関連産業の集積となっているが、「エネルギー・環境」とした方がよいのではないかな。	環境分野の産業振興についてはこれまでも取り組んでおり、「競争力の高い産業の創出・育成」のプロジェクトにおいて取り組むこととしています。「エネルギー産業の集積促進」のプロジェクトについては、「エネルギー産業」に特化したプロジェクトとして整理しております。
14	野村委員	実施計画	PJ6	18	看護職員の確保については記述があるが、今後、需要の増える介護職員については、離職率が高く処遇の改善など介護職員を増やすための政策も必要ではないかな。	福祉・介護人材の育成・定着・確保の取組みは、「高齢者が生き生きとくらす社会づくり」のプロジェクトに位置づけておりますが、ご意見を踏まえ、福祉・介護人材の育成・定着・確保について主な取組みとして記述を補足しました。

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応方向
15	角野委員	実施計画	PJ7	19	<p>医療のプロジェクトで、看護師の数が目標となっているが、神奈川は看護師の充実度はワースト1であり、もう少し具体的な記述をするべきである。</p> <p>例えば、保育についても、ただ保育の充実ではなく、病児保育など具体的に記述するべきではないか。</p>	看護師確保に向けた取組みについて、院内保育などの具体的な取組みを例として追加しました。
16	斉藤委員	実施計画	PJ10	22	<p>少子・高齢化が進む中では、介護や子育てなど女性が重要な役割を果たす部分が大きく、女性が働き易く住みやすい神奈川にしていくことが大切である。</p> <p>しかし、男女共同参画の取組みが外国籍県民と一緒にになり、マイノリティという扱いになっていることは違和感があり、神奈川を支える女性に対する政策を明確に位置づけてほしい。</p>	男女共同参画については、「男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり」のプロジェクトを位置づけました。
17	内田委員	実施計画	PJ10	22	<p>県の人口の半分は女性であり、介護・子育てなどの負担は女性にかかるため、女性の社会参画という面だけでなく、保健福祉分野における女性の位置づけについても、今後、検討するべきではないか。</p>	
18	野村委員	実施計画	PJ10	22	<p>高齢化社会においては働き手としての女性の役割も重要であり、女性が社会の一員として発言し社会に貢献していくべきであるという方向性を、男女共同参画の先進県としてしっかりと位置づけてほしい。</p>	
19	藤井委員	実施計画	PJ10	22	<p>女性が社会に参画するためには、男性の働き方が変わる必要があり、男性が子育てに参加できるよう、働き方を変えるような政策も検討してほしい。</p>	
20	鈴木副会長	実施計画	PJ10	22	<p>女性の社会参画については、すでに様々な分野の施策として展開されているが、まだ行き渡っていないためもう少し書き込んでいく必要がある。</p>	

NO	委員名	区分	該当項目	頁	意見	対応方向
21	服部委員	実施計画	PJ16	32 33	PJ16の「にぎわい拠点づくり」の取組みは、この4つの拠点に重点化したということではあると思うが、各市町村とも地域資源を活用したにぎわいづくりに取り組んでいるため、なぜこの4つなのかということについてもう少し説明が必要ではないか。	にぎわい拠点づくりについては、ご意見を踏まえ、各地域の自主的な取組みが進んでいるものを県が支援することでモデルを創出し、各地域に波及させていこうとする取組みですが、その趣旨について記述を補足しました。
22	小林会長	実施計画	PJ16	32 33	行政は平等を旨とするが、地域づくりについては、やる気がある地域を捉えて活用することが何より重要である。	
23	八木(大)委員	実施計画	PJ16	32 33	PJ16のにぎわい拠点づくりは、やはり、なぜこの4つなのかという疑問を持つので、しっかりと説明する必要がある。	
24	根岸委員	実施計画	PJ17、23	34 42	県の産業や商業など潜在力を生かした政策へのふれ方が少ないのではないかと。商店街振興など成果が上がっていない政策があるのに、新しいことばかりに取り組むのではなく、着実な取組みもしっかりとやってほしい。	中小企業を中心とした既存産業への支援は、「競争力の高い産業の創出・育成」のプロジェクトに位置づけて取り組むほか、主要施策の「神奈川の力を生かした産業集積の促進」において、着実な支援を位置づけております。 また、商店街への支援については、地域の魅力づくりの視点で「行ってみたい神奈川の観光魅力づくり」のプロジェクトで取り組むほか、主要施策の「魅力ある地域資源を生かした産業の振興」において、着実な支援を位置づけております。
25	野村委員	実施計画	主要施策 政策分野別の体系	14	基地対策について、日米地位協定などについては記述しないのか。	ご意見を踏まえ、日米地位協定に関する国への働きかけについて取組みを記載しました。
26	服部委員	実施計画	主要施策 地域別の体系	37	現行計画と比較すると、地域別のプロジェクトがなくなっており、県が各地域で力を入れる施策を見せる部分が少ないのではないかと。	地域別の施策については、地域政策圏ごとに主要施策を体系化したものを「地域別の体系」として位置づけ、地域図、主な事業とともにお示しすることとしております。
27	鈴木副会長	実施計画	主要施策 プロジェクトと主要施策の関係	59 ～ 64	プロジェクトが、主要施策とどういう関係にあり、どういう位置づけのものであるかということについて、説明していく必要がある。	ご意見を踏まえ、プロジェクトと主要施策の関係について、新たに記述を追加しました。
28	服部委員	その他	-	-	素案の段階でも、市町村と十分な意見交換を行っていただきたい。	骨子案についても市町村への意見照会を行ったほか、各市町村を訪問し意見交換をさせていただきましたが、素案の段階においても、意見交換等を実施させていただきます。